令和7年第2回（2月）定例会 代表質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	1 当市における課題認識について (1) 各種の課題が山積しているが、喫緊かつ継続的対策が必要となる政策の優先順位について、どう考えるのか (2) 離島であるが故の魅力とは何か。また、魅力づくりはどうしていくのか、市長のビジョンを問う 2 安心して暮らし続ける島について (1) 高齢化や来島者増に伴う島内交通網の整備は重要であるが、それに伴う行政コストはどう対応していくのか (2) 本土への足である佐渡汽船の安定運行、及びトキエアによる空路再開に対して、いかなる支援策を講じていくのか (3) 佐渡医療圏の維持確保と介護・福祉連携に必要な行政コスト対策は、どう考えるのか (4) 離島である当市における災害対策として、非常時の本土からの物資搬入手法やエネルギー確保は十分と考えられるか (5) 少子化に歯止めがかからない中、そもそも子育て世代の若者が佐渡で、又は佐渡に戻って出産、子育てするメリットはどこにあると考えるのか 3 人が賑わう元気な島について (1) 入込客数が伸び悩んでいるが、世界文化遺産2年目のスタートダッシュに当たり、どのような政策（戦略）で観光入込客数60万人の目標達成を目指すのか。また交通事業者のみならず、様々な関係機関や組織への営業活動により、さらなる連携を図っていく必要性があるのではないかと、施策（戦略）の方向性を問う (2) 佐渡の認知度向上の情報発信やプロモーションが重要なことは当然であるが、その内容を的確かつ有効なものとするために、マーケティング等の調査分析はどのように行っていくのか（行っているのか）。また、島内関係事業者との情報共有はできているか (3) 文化財保護や文化継承などに必要な財源確保はどうしていくのか。特別税の議論は今後どのように進めるのか (4) 「オール佐渡」で、住む・働く・暮らす場合の本土にない魅力やメリットは何と捉えているのか (5) 第一次産業のみならず、島内の全産業において所得の確保と向上が必要と思われるが、後継者確保も含め、行政としてできる支援策はもう十分と考えるか 4 行政運営改革ビジョンについて (1) ビジョンを作成したこと自体は大いに評価できるが、令和9年度までのプライマリーバランスゼロ計画に無理はないか (2) 市民サービスの低下や防災対策への影響はないのか 5 当市における教育について (1) 少子化により島内の児童・生徒数も減少する中、集団での学習活動等に取り組める教育環境の充実には、長期的にはどの程度の集約化が必要と考えるのか (2) 行政機能集約、効率化の観点から、教育委員会も本庁舎内に移転すべきとの意見を議会に出している。また、スペース上も可能と側聞するが、今後の計画を問う	政 風 会 林 純 一

順	質 問 事 項	質 問 者
2	1 国内外の様々な事案による佐渡市への影響について (1) 1月定例会見で「国内外の動向を見極めて行動する必要がある」との発言があった。物価高を中心に、現在、佐渡市にどのような影響が出ているのか (2) トランプ大統領の就任や、より不安定になるであろう国内政治に対し、来年度の佐渡市の経済や施策にどのような影響を与える可能性があるのか。また、準備している対策はあるのか 2 佐渡市民の生活を向上させるには (1) 市長が掲げる「可処分所得向上」に向けた具体的な施策は何か。また、どのような状態を目標にしているのか (2) 以前は佐渡から出るお金を減らし、島外から稼いだお金を増やし、そのお金を佐渡島内で循環させることで佐渡の経済がよくなっていく「島内循環型経済」という言葉が頻繁に使われていた。それが進化したものが「ローカルSDGs・地域循環共生圏」だと考えるが、環境や地域社会などを絡めたことで逆に何をすべきかが見えなくなっている。「ローカルSDGs・地域循環共生圏」の推進により、どのように経済的豊かさを実感してもらおうとしているのか (3) 地域外への資金流出抑制、地域外からの資金獲得、地域内での資金循環を促進するために佐渡市役所内で行えること、佐渡の企業や個人等に行ってもらいたいことに分けた指針を示すべきではないか (4) 限られた予算を費用対効果の高い施策に集中するため、「佐渡市行政運営改革ビジョン」に費用対効果の考え方を明記すべきではないか (5) 世界遺産登録で増える観光客をリピーターや移住・定住に変える具体的な施策は何か (6) 誘致企業の従業員や移住者を佐渡に定住するU・Iターン者に限定してもよいのではないか 3 佐渡市民の人材育成の考え方について (1) 新潟県教育委員会が示した「県立高校の将来構想」では佐渡教育コンソーシアムと連携する方針となっているが、来年度の予算が計上されていない。コンソーシアムの現状と県教育委員会の方針との整合性はどのようになっているのか (2) 高校の探究活動がUターン者の増加につながっている。教育委員会を含め、様々な部署で中高生への探究活動を行っているが、佐渡の全ての中高生に探究活動の機会を提供するために、佐渡教育コンソーシアムの活用が必須だと思うが、どうか (3) 来年度は島外大学生向けの事業を拡充する方針だが、これほど手厚い所は県内他市では見当たらない。島外大学生向け事業を拡充する目的と期待される効果は何か (4) 施政方針に「市民との協働」や「地域への誇りを育む事業」を実施するとある。具体的にどのような事業を行なうのか (5) 佐渡在住の若者や佐渡出身者向けの支援、事業を増やす方針に転換してほしいが、どのように考えているのか 4 佐渡市役所の組織運営について (1) 市長が考える、市職員に対する人材育成の方針とは (2) 全国的にも行政が選ばれない組織になっており、佐渡市も同様である。市役所内の労働環境改善、働き方改革、人材育成、人員確保等の現状と課題及び具体的な対策は何か	新生クラブ 広瀬大海

順	質 問 事 項	質 問 者
2	(3) 人材マネジメント方針を定め、一人一人と丁寧なコミュニケーションを取ることで、最終的には市民のためになる職員が増えていく。そのためには総務課の機能強化が必要なのではないかと (4) 職員個人のやる気や能力に頼るのではなく、先人が作り上げた仕組みやフレームワークを活用することで、属人化を防ぎ、組織として業務遂行能力を高め、ミスや不適正事務も減っていく。今後の佐渡市役所の運営方針についての市長の考えは	新生クラブ 広瀬大海
3	1 新年度予算編成について (1) 前年度の余剰金 (2) 余剰金を反映した新年度予算の方向性 2 施政方針について (1) 医療について ① JA新潟厚生連佐渡総合病院への支援 ② 佐渡看護専門学校閉鎖に対する支援 ③ 健康寿命日本一を目指す具体的な施策 (2) プライマリーバランスゼロについて ① 過去3年間の佐渡市の人口減少推移と人口減少対策 ② 水道事業 ③ 公共施設の見直し ④ 業務の見直し ⑤ ふるさと納税 (3) 子育て支援について ① 子育て交流ひろば ② 子どもが元気な佐渡が島（たからじま）条例の効果と検証 ③ 公立保育園・幼稚園・認定こども園の運営基本方針 (4) 新しい税の導入の方向性について (5) 除雪について ① 規定どおりの除雪体制になっているか ② 雪の排雪 ③ GPS機能の効果 (6) 職員の働く環境について パワーハラスメントの根絶 3 教育行政方針について (1) 部活動地域移行について ① 令和8年度休日完全移行に向けての課題と改善 ② 地域クラブの設立について ③ 平日の部活動について (2) 小・中学校の再編統合計画について ① 再編統合協議中の進捗状況 ② 統合後のスクールバスなどの登下校について	リベラル 佐渡 平田和太龍
4	1 防災・減災対策について (1) 耐震シェルターの推進 (2) 災害関連死ゼロの島を目指して ① 避難所の整備、充実 ② 福祉サービスの提供 ③ 上下水道管の耐震化 ④ 外部人材の活用	公明党 山田伸之

順	質 問 事 項	質 問 者
4	2 観光について ○ インバウンド対策 ① 高付加価値旅行者の誘客促進 ② 受入態勢の充実 3 デジタル化について 島全体のデジタル化の推進を 4 教育について (1) 学力向上の施策の推進 (2) 不登校対策の進捗 (3) 幼児教育の推進 (4) 高校生を対象とした部署の設置	公 明 党 山 田 伸 之